

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	平野区
学 校 名	喜連北小学校
学校長名	廣岡 浩

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・喜連北小学校では、第6学年 63名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

今年度は三教科での実施であった。結果としては三教科ともに大阪市・全国ともに大きく下回っている。具体的には、国語－9.2P、算数－13P、理科－14.1Pの差が生じている。ペーパーテストの結果としては振るわなかつと言わざるを得ないが、各教科とも無解答率では0%の問題も多く、解答しようという前向きな姿勢が伺えたことは大きい。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕知識及び技能面では「言葉の特徴や使い方に関する事項」でわずかに下回っているが、大阪市や全国とあまりかけ離れていない。「情報の扱い方に関する事項」についても、開きはまだ少ない。思考力・判断力・表現力では「書くこと」を圧倒的に苦手としている。〔算数〕全体的にどの領域も低い。特に「測定」「データの活用」の領域が低い。知識・技能が身につけていないわけではないが、それを使って思考・判断・表現することが難しいようだ。記述式の問題ではそのあたりが顕著に表れている。〔理科〕全領域において、特に全国とは大きく溝がみられる。特に「エネルギー」を柱とする領域の問題はかなり苦戦している。選択式の問題であっても、かなり差がみられる。また、「生命」や「地球」を柱とする領域に関しても同じような傾向がみられる。「学力向上支援チーム事業」「各ブロック学力推進事業の実施」等、学力向上に向けた大阪市の取り組みも本校では今年度は特に国語を中心にまた、算数にもサポートを入れているが、なかなかペーパーテストの結果に結びついていない。しかし、各学年の授業時間において、自分の意見を持ち、伝え合う、取り入れて深めるなどが活発に行われている。

質問調査より

普段は元気いっぱい何事にも我先にと取り組む姿勢がみられ、下の学年にも優しく接している子ども達である。しかし今回の結果、全体的に自己肯定感が低いように思われる。特にどの質問に対しても最も肯定的な「当てはまる」という回答が少ない。考えられることは、新学期すぐの実施で、子ども達なりにクラス替えなど不安定要素があり、「どちらかと言えば当てはまる」ととどまったのではないかと分析する。「読書は好きですか」に対して肯定的な意見が全国・大阪市よりも高かった。学校全体で読書活動の推進に取り組んでいることが定着してきたと思われる。「好き」ではあるが読書時間は少なめである。その要因の一つに学校以外での読書環境が十分でないのではないかとと思われる。

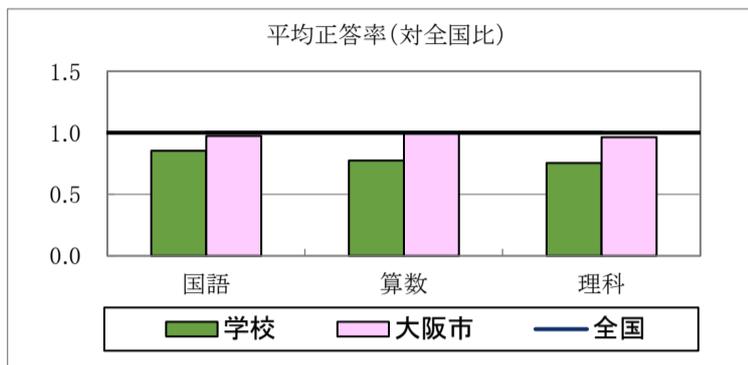
今後の取組(アクションプラン)

学習において、「基礎・基本の定着」を大切にすることで知識理解を進め、「やればできる」実感を持たせる。また獲得した知識を活用し、児童同士が意見交流を行い「主体的・対話的で深い学び」を継続して指導を進める。また、読書活動についても学校ができる読書環境を整えることによって、これまで以上に意欲的に読書する児童を育成する。それらの相乗効果で自己肯定感・自己有用感を高めていく。

【 全体の概要 】

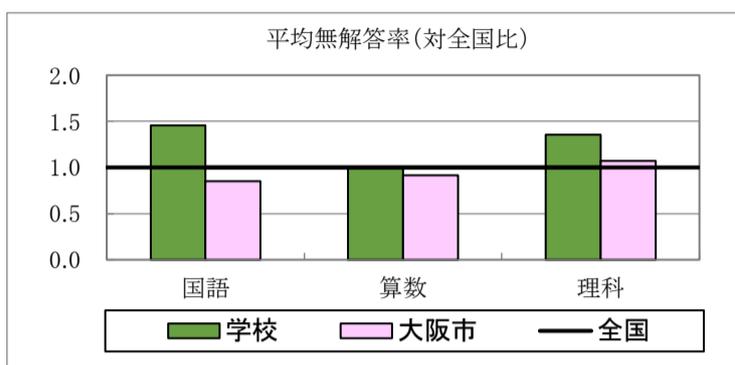
平均正答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	57	45	43
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率 (%)

	国語	算数	理科
学校	4.8	3.6	3.8
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



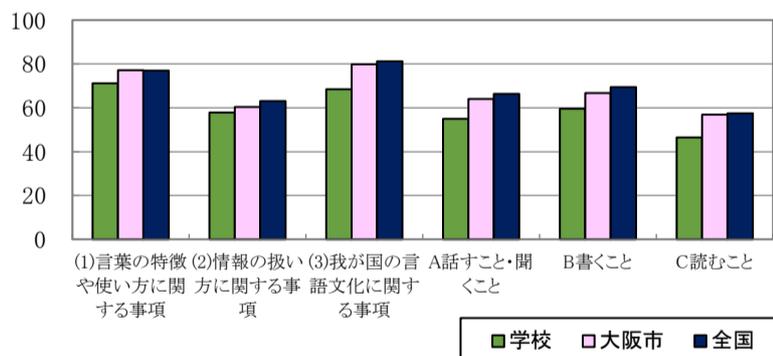
【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	2	71.1	77.1	76.9
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	57.9	60.4	63.1
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	68.4	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	55.0	64.0	66.3
B 書くこと	3	59.6	66.7	69.5
C 読むこと	4	46.5	56.9	57.5

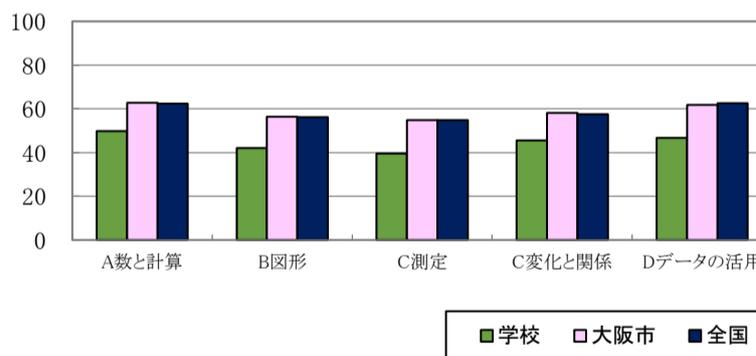
【 算数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	49.8	62.7	62.3
B 図形	4	42.1	56.4	56.2
C 測定	2	39.5	54.9	54.8
C 変化と関係	3	45.6	58.2	57.5
D データの活用	5	46.7	61.9	62.6

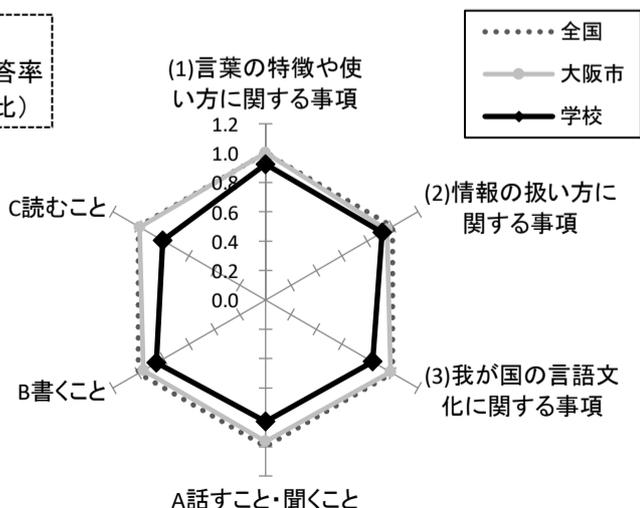
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



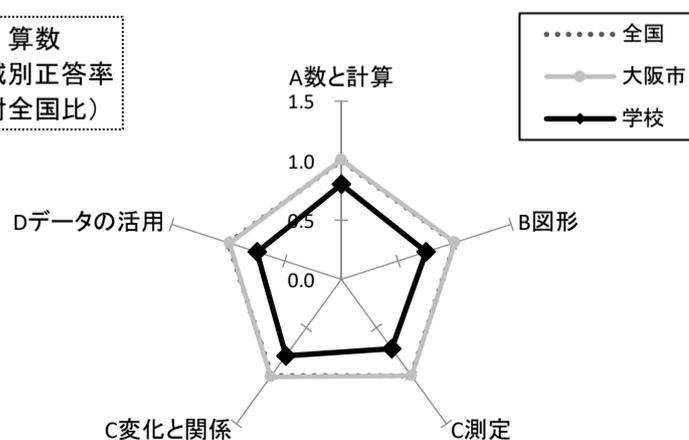
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

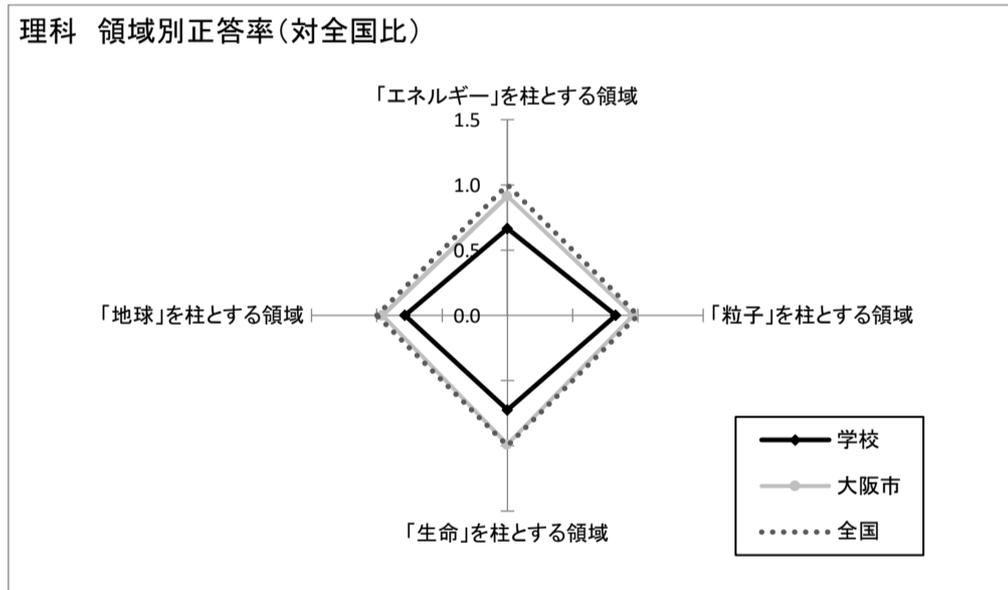
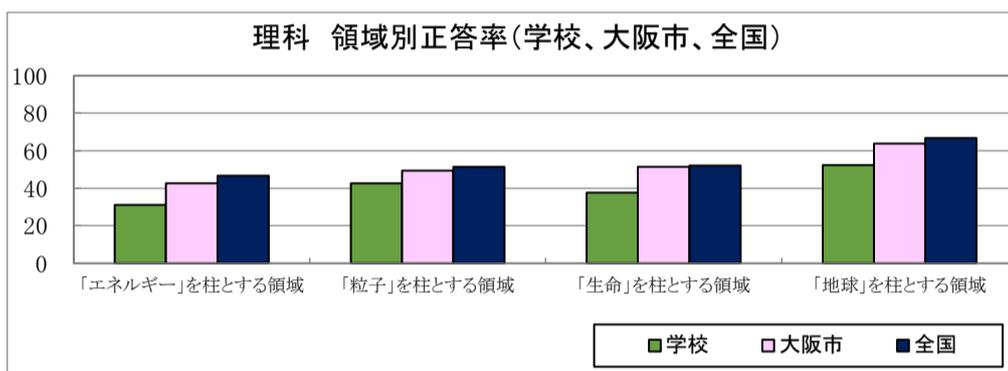


算数
領域別正答率
(対全国比)



【 理科 】

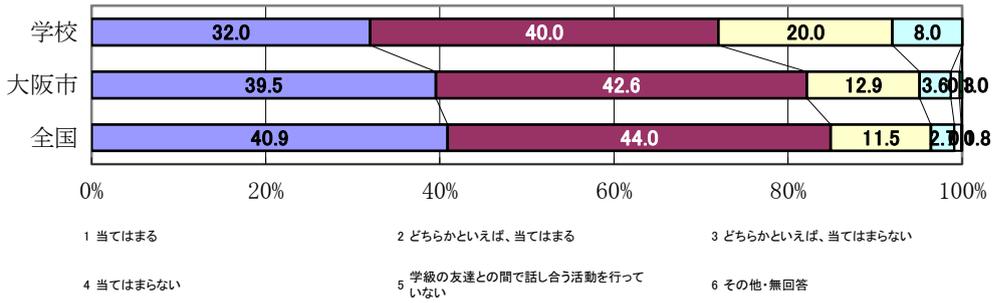
学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	4	31.1	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	6	42.7	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	4	37.7	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	6	52.3	63.8	66.7



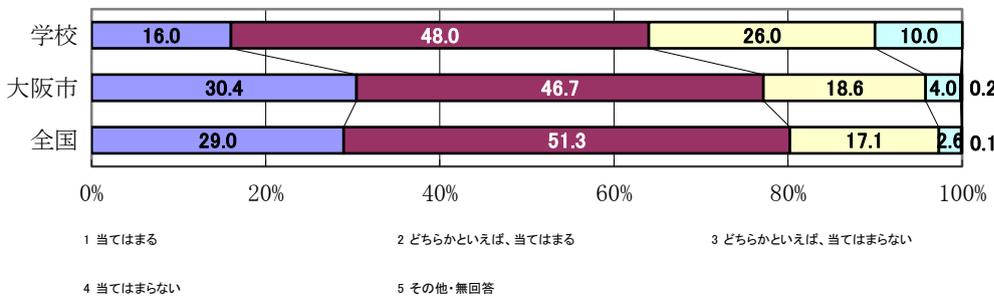
児童質問より

質問番号
質問事項

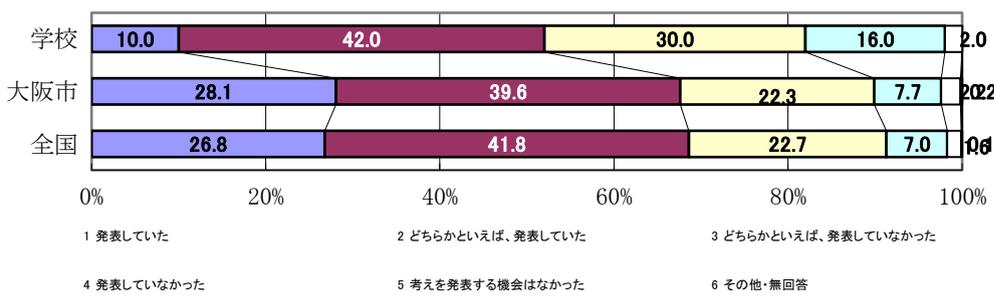
35
 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



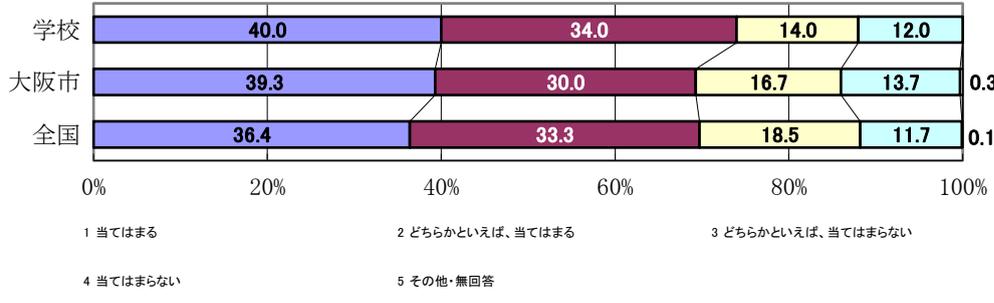
32
 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



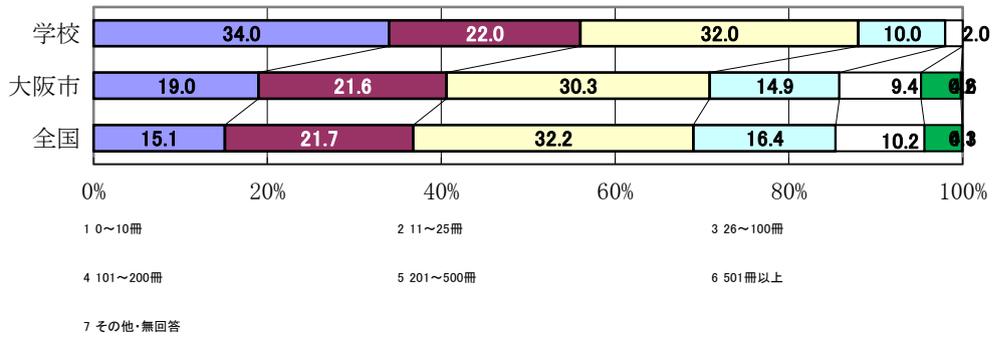
31
 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



24
 読書は好きですか



22
 あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)

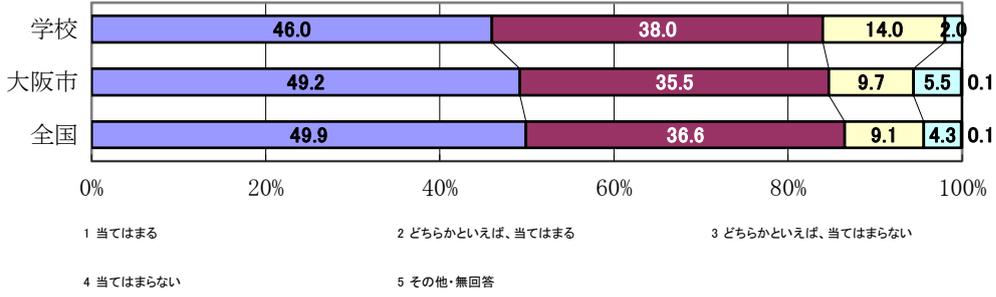


児童質問より

質問番号
質問事項

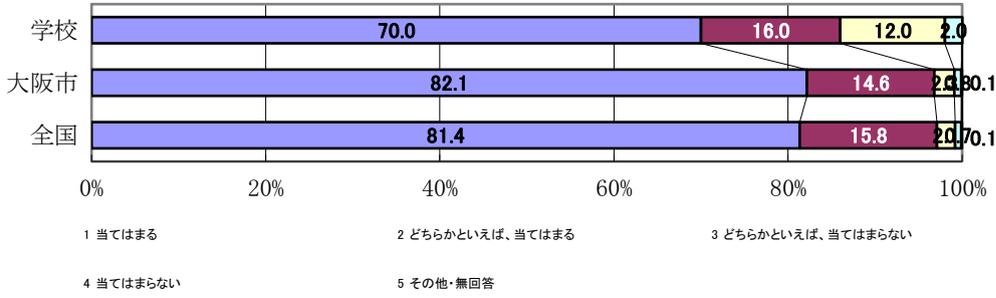
12

学校に行くのは楽しいと思えますか



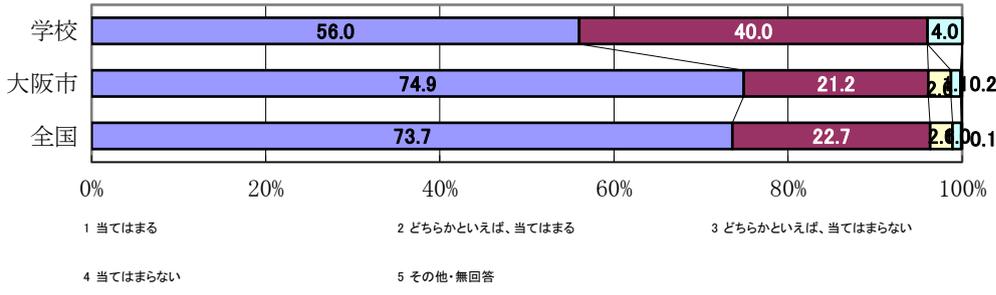
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



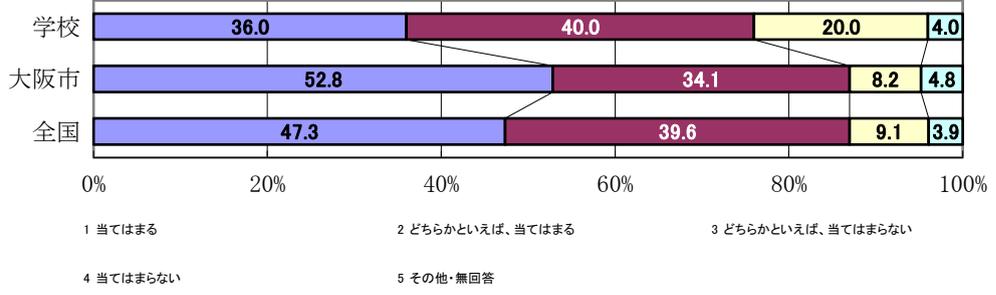
11

人の役に立つ人間になりたいと思えますか



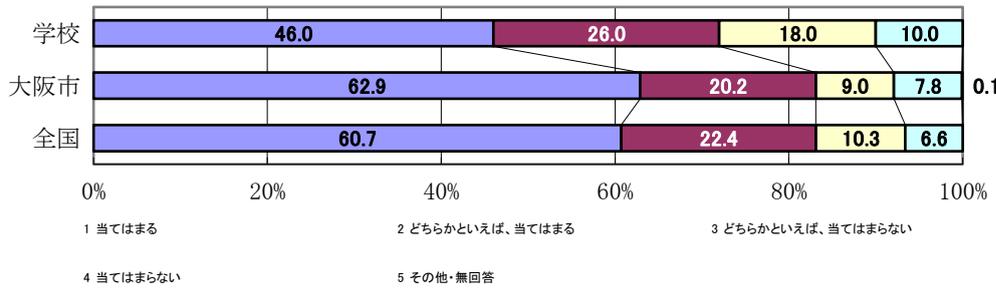
5

自分には、よいところがあると思えますか



7

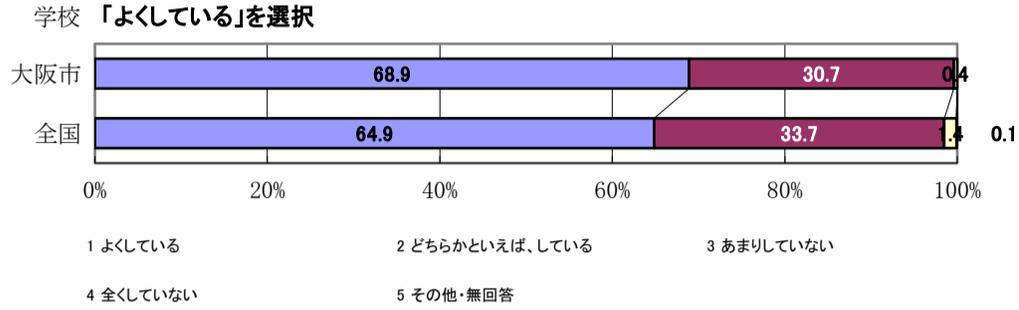
将来の夢や目標を持っていますか



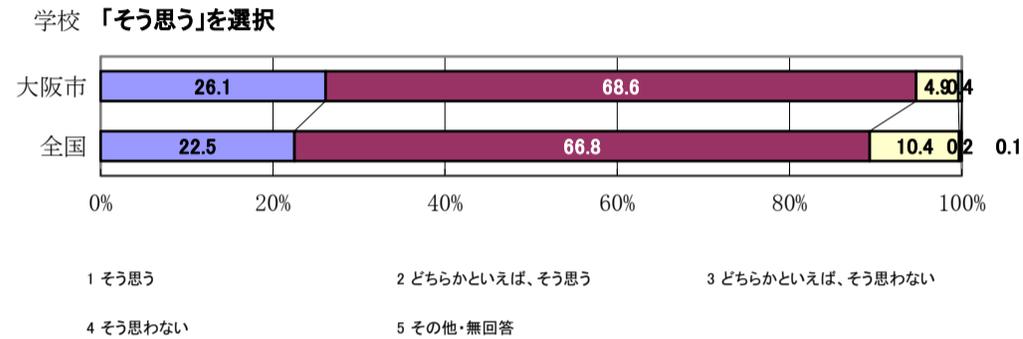
学校質問より



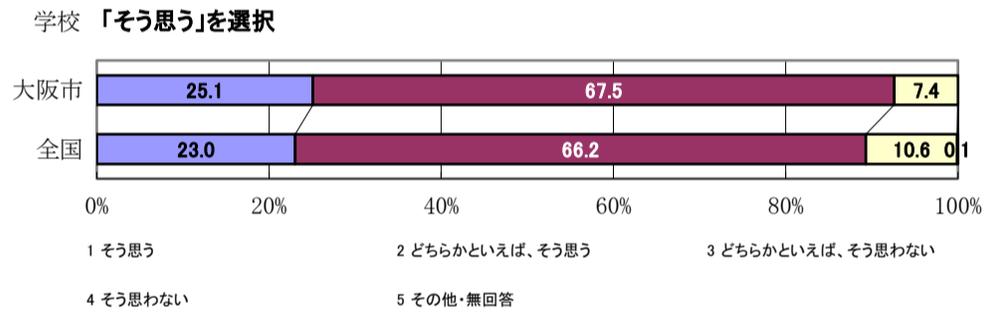
質問番号
質問事項
18
授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか



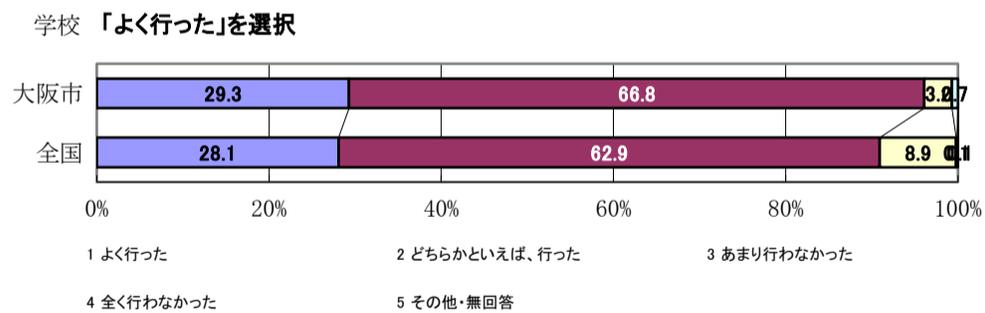
25
調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか



27
調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか



30
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫しましたか



84
令和6年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)

